

(科目コード : 8910720076AE)

【改訂】第8版(2015-03-27)

【科目】都市計画特論

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】選択

【学期・単位数】前期・2単位

【対象学科・専攻】環境 1年

【担当教員】鈴木 一史

【授業目標】

計画の目的論と目標設定を理解している。

現実の都市問題に対し、分析仮説を設定するとともに、そのための分析方法を選定できる。

特定の都市問題に関連する適切な資料・調査データを収集・整理できる。

基礎的な確率統計と統計的処理を用いて地域の問題を分析できる。

分析した結果をレポートをとして作成し、それをわかりやすくプレゼンテーションできる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は22.5時間である。

近年の都市計画には、地球環境や地域・地区の環境への配慮、高齢者のモビリティの確保、さらには計画策定プロセスにおける市民参加など、様々な計画課題が存在する。本講義では、「都市計画」で講じた内容を理解していることを前提に、現実の地域の都市・交通問題について、分析仮説を設定し、そのための分析方法を検討する。そして、資料・調査データを収集・整理し、客観的・定量的な分析を行い、仮説を検証する一連の流れを体得する。以上をもって、科学的な研究の流れを学修することを目的とする。実際の地域を対象に、ゼミ、グループ作業・ワークショップ形式で分析作業を行う。

【教科書・教材・参考書等】

教材：プリント

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

授業形式：ゼミ、グループ作業・ワークショップ形式

【事前に行う準備学習】

本科「都市計画」、「計画数理」で学んだ内容を復習しておいてください。

【備考】

本科目の履修を希望するものは、環境都市工学科「都市計画」「計画数理」を履修していることが望ましい。

【成績評価方法】

[前期]レポート：100%、レポート100%（課題作成70%、発表30%）

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	地域の都市・交通問題点について、分析仮説、分析方法を設定し、資料・調査データを収集・整理し、定量的に分析できる。	70 %	レポート（課題作成）で評価する。
2	分析した結果をレポートをとして作成し、それをわかりやすくプレゼンテーションできる。	30 %	レポート（発表）で評価する。

【本校の学習・教育目標】

(C) 技術的問題解決のための専門分野の知識を身に付ける

各専攻分野における専門科目を総合的に学習することにより、技術的課題が解決できる

【授業計画】（都市計画特論）

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	ガイダンス	本講義の目的、進め方		
2	対象地域・分析テーマ設定	ディスカッションによるテーマ設定		
3	分析方法の検討(1)	使用データ、分析の流れ		
4	分析方法の検討(2)	分析手法、分析結果の整理方法		
5	資料・データの収集・整理(1)	エディティング、コーディング		
6	資料・データの収集・整理(2)	データ入力		
7	資料・データの収集・整理(3)	データチェック、マスターデータ作成		
8	資料・データの分析(1)	統計的分析		
9	資料・データの分析(2)	統計的分析		
10	資料・データの分析(3)	統計的分析		
11	資料・データの分析(4)	統計的分析		
12	課題のとりまとめ(1)	レポート作成		
13	課題のとりまとめ(2)	レポート作成		
14	課題のとりまとめ(3)	レポート作成		
15	課題発表	課題発表	レポート提出	